

製品概要



タイプ	Lタイプ	Hタイプ
内容量	15kgセット	16kgセット
荷姿	プラペール缶	
内容物	主剤 2.5kg 袋	主剤 2kg 袋
	硬化剤 2.5kg 袋	硬化剤 2kg 袋
	粉体 10kg 袋	粉体 12kg 袋

※ 製品改良にともない、仕様・外観などは予告なしに変更することがあります

取扱い上の注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 開封後は、直ちに使用してください。
- ご使用や保管の際は、当カタログや製品本体に記載の注意事項およびSDS(安全データシート)を良くお読みください。
- ご使用の際は、皮膚・粘膜・目などに入らぬように適切な保護具を着用してください。万一皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い落とし、痛みや外観に変化がある場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 内容物や容器を廃棄する際は、国および地方自治体の規則に従い産業廃棄物として廃棄してください。

会社紹介

商号	カナエ化学工業株式会社
所在地	〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町8番地2
電話/FAX	06-6418-1501 / 06-6419-2269
ホームページ	https://www.kanaekagaku.co.jp

※ ホームページよりカタログをダウンロードできます



ヴィナールPC-EP

万能下地調整材(水性エポキシ系樹脂モルタル)

Product Description



ヴィナルPC-EP 万能下地調整材(水性エポキシ系樹脂モルタル)

PC-EPは、エポキシ樹脂エマルジョンと特殊セメントを混合して使用する樹脂モルタル系の万能下地調整剤です。

防水改修工事や塗装工事における各種下地(ポリマーセメント・ウレタン・FRPなどの既存塗膜、コンクリート・タイル・鉄板などの無機系下地)との密着性に優れています。また、耐溶剤性にも優れているため、溶剤を含む上塗り材や溶剤系接着剤によるシート類施工時の下地調整材としても使用可能です。

用途

防水改修工事や各種塗装工事の下地調整
長尺シートやPタイル施工時の下地調整
ライニング施工時の防食および防水

特徴

- 各種下地に施工可能であり、湿潤面はもとより油潤面にも密着します。
- エポキシ樹脂の使用により、耐水・耐摩耗・耐溶剤・耐薬品などの耐久性に優れています。
- 各種上塗り材との相性も良く、溶剤系の塗料や接着剤も使用可能です。
- ローラーや刷毛または金鏝などで簡単に塗布できます。
- 原料に有機溶剤を使用していないので、安全に作業できます。

一般性状

		Lタイプ	Hタイプ
主成分 (外観)	主剤	変性エポキシ樹脂(乳白色液体)	
	硬化剤	ポリアミドアミン(淡黄色液体)	
	粉体	特殊セメント(灰色微粉体)	
混合状態		灰色スラリー状	灰色モルタル状
混合比(主剤:硬化剤:粉体)		1:1:4	1:1:6
可使時間 (1kg混練時)	10℃	約90分	
	20℃	約60分	
	30℃	約30分	
塗布量	0.8~3.2kg/m ²	2.0~8.0kg/m ²	
塗布厚	0.5~2.0mm	1.0~4.0mm	
塗布方法	ローラー・刷毛	金鏝	

各種下地への密着性

測定方法: JIS A 6203 に準拠

下地の種類	付着強さ(N/m ²)	硬化(養生)条件
モルタル(乾燥面)	1.6(基材破壊)	23℃・60%RHの環境下で14日
モルタル(湿潤面)	1.8(基材破壊)	モルタルを水に浸漬し、 23℃・95%RH以上の環境下で14日
モルタル(油潤面)	2.5(基材破壊)	モルタルをエンジンオイルに浸漬し、 23℃・60%RHの環境下で14日
鋼板	10.2(凝集破壊)	20℃・80%RH×2日 → 20℃・水中×5日 → 20℃・60%RH×21日
磁器タイル	2.3(基材破壊)	
FRP(無処理)	2.2(基材破壊)	
FRP(研磨処理)	2.1(基材破壊)	23℃・60%RHの環境下で14日



施工手順

1. 下地処理



■ レイタンスなどの脆弱な箇所や汚れを除去してください

- ・ モルタルの場合
→ 脆弱部をはつり取る。
- ・ 鋼板の場合
→ 錆をケレンする
- ・ 樹脂塗膜の場合
→ 浮きや劣化部をはつり取り、必要に応じて研磨処理する



- 塗布する場所以外は、養生テープおよびシートで保護して塗料の付着を防いでください
- ドレン部分は、材料が流れ込まない様にしっかり養生してください
- 夏場の施工や下地が水を吸いやすい場合は、必要に応じて散水してください

2. 材料の混合



- 混和液の主剤と硬化剤を、均一になるまでハンドミキサー等で攪拌してください
- 混合した混和液に粉体を徐々に加え、均一になるまで混練してください
- 加水する場合は、混合物の3%を限度としてください

→ 可使時間(目安): 30℃→ 約30分、20℃→ 約60分、10℃→ 約90分
上記可使時間は、1kg混練時の目安です
気温が高く、混練量が多いほど短くなる傾向にあります

3. 塗布



- 塗布する箇所や塗布厚に応じてローラーや刷毛または金鏝などで塗布してください
- 立ち上り部分は、一度捨て塗りしてから再度塗布することで施工が可能です

→ 塗布量: Lタイプの場合 0.8~3.2kg/m² (塗布厚 0.5~2.0mm)
: Hタイプの場合 2.0~8.0kg/m² (塗布厚 1.0~4.0mm)

4. 養生



- 養生中は、異物が付着したり、水がかからないように注意してください
- しっかり乾燥したことを確認してから、各種上塗り材や接着剤を塗布してください
- 使用した器具は、可使時間内に水洗いしてください

→ 養生時間(目安): 30℃→ 約12時間、20℃→ 約15時間、10℃→ 約18時間
上記養生時間は、2mm厚に塗布した際の目安です

施工上の注意

- 気温5℃以下での施工は避けてください。
- 降雨時・降雪時および施工後6時間以内に降雨・降雪の恐れがある場合の施工は避けてください。
- 可使時間を経過したものは、不良の原因となりますので使用しないでください。
- 著しい不陸がある場合は、適切な材料で前処理をしてください
- 水分や油分が表面に浮いている場合は、ウエスやシンナー等で拭き取ってください。
- 乾燥時間は気温の高い時は短くなり、低い時は長くなります。
下地の種類や状態によっても異なりますので、乾燥状態を確認してから次工程に進んでください。